

◆進行管理表の修正内容及び理由

No.	柱 小柱－ 具体的施策	修正内容（見え消し）	修正理由	担当課名
1	第2節 4－① KPI実績	60% <u>①85.0%</u> <u>②85.3%</u>	記載誤りのため。	学校教育課
2	第2節 4－① KPI補足説明	・学習指導要領が変わり、主体的、対話的で深い学びの実現を通して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めるべく授業改善をスタートさせ、各学校模索している。 <u>・教育委員会と学校との調整不足により、8校中2校しかアンケート項目に入れられなかった。</u>	No.1の修正による追記。	学校教育課
3	第2節 4－① KPI今後の対応	<u>・各学校のアンケートに改めて項目を入れるよう調整を行った。</u> ・各学校において、授業改善を地道に進めていく。 ・トライし、点検し、改善を図ることを繰り返しながら、授業力の向上を図っていく。	No.1の修正による追記。	学校教育課
4	第2節 4－③ KPI実績	50% <u>①77.0%</u> <u>②77.1%</u>	記載誤りのため。	学校教育課
5	第2節 4－④ KPI実績	<u>年1回</u> <u>年2回</u>	記載誤りのため。	学校教育課
6	第2節 4－④ KPI補足説明	・年間指導計画に基づき、各学校において学校支援地域本部に協力を依頼し、地域講師の派遣による授業を行った。 <u>・各学校年2回～14回実施した。</u> <u>・各学校の最低回数を実績とするもの。</u>	No.5の修正による追記。	学校教育課
7	第2節 4－④ KPI今後の対応	・ばらつきはあるものの、 <u>学校及び学年の実態に合わせて</u> 地域とともに授業をつくっていく学校が多くみられた。 <u>・今後より多くなるよう市全体で推進していく。</u> <u>・今後も学校が積極的に地域を教育活動に巻き込んでいけるよう努める。</u>	No.5の修正による加筆修正。	学校教育課

取り組みの方向	4 学校教育の充実したまち
人は自然と社会の中で生涯学び続けていくことが必要です。その入り口の一つとして学校教育は大きな役割を果たすものです。今日、価値観の多様化や高度な情報化社会の中にあって、子どもたちが身につけなければならない力は多岐にわたっています。これまで受け継がれてきた知識や文化・伝統などを踏まえ、地域社会や家庭と連携し、互いの個性を尊重し合う人間性溢れる教育、限りある命を生きていることの素晴らしさを感じることができる教育を行っていくこと、そしてこれからの国際社会の一員として生きていく力を育むことが必要です。 いつの時代にも変わってはならない本質の部分を土台に、その時々々の教育的課題に臨機応変に対応して、「豊かな人間性」・「確かな学力」・「健康な心身」を目標として『自ら考え、心豊かに、たくましく生きる逗子の子ども』の育成を図ります。	

具体的施策	① 教員の指導力及び教育課題への対応力向上
-------	-----------------------

KPI	児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」に「①授業がよくわかる」「②学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	①85.0% ②85.3%	No.1						80%以上

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
・ 学習指導要領が変わり、主体的、対話的で深い学びの実現を通して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めるべく授業改善をスタートさせ、各学校模索している。	
・ 教育委員会と学校との調整不足により、8校中2校しかアンケート項目に入れられなかった。	
No.2	
今後の対応	
・ 各学校のアンケートに改めて項目を入れるよう調整を行った。	
・ 各学校において、授業改善を地道に進めていく。	
・ トライし、点検し、改善を図ることを繰り返しながら、授業力の向上を図っていく。	
No.3	

主な取り組み

取り組み①	教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業の推進	総合戦略	1-2-①-1 1-2-②-1
説明	・授業と学級経営についての自己チェックリストを活用し、各市立学校において、「わかりやすい授業づくり」や「お互いを認め合う学級づくりなどに関する教員の指導力向上を図る。		
2023年度実施内容	・自己チェックリストの活用を全教員に促し、校内研究と絡めながら指導力向上を図った。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
2023年度実施内容	支援教育推進巡回チームが市内小中学校を巡回し、個と集団のアセスメントを実施し、教員への助言・指導を行った。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
取り組み②	教育指導教員の派遣	総合戦略	—
説明	・教育指導教員を各学校に派遣し、授業観察を行い、参観後にフィードバックの機会を設け、指導力向上に資する助言を行う。		
2023年度実施内容	・全小学校へ教育指導教員を配置した。 ・全中学校へ少人数指導教員を配置した。		
【参考】予算事業名	少人数指導教員・教育指導教員派遣事業	【参考】実績額	18,829,280円
		担当課	学校教育課

具体的施策		③ ICTを活用した授業と情報教育の推進						
KPI	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち「①授業にICTを活用して指導する能力」「②情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が80％以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	①77.0% ②77.1%	No.4						80％以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 子どもたち一人一台の端末が整備されたことに伴い、各学校において授業での活用の模索が始まった。 ・ 若手の教員やICT機器の扱いを得意とする教員を中心に活用が行われた。 ・ 学ぶ子どもたちに、指導者のICT活用能力による差が出ないよう、学校はチーム対応を行っている。								
今後の対応								
・ OJTや、ICT指導員等の力を借りた研修などを通して、すべての教員がICTの活用を少しずつでも進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	授業におけるICT機器の効果的な活用				総合戦略	—
説明	- 新しい機器を活用した授業づくりや、新しい授業スタイルを見据えた環境整備について、教育情報化推進会議において研究を進める。 - 夏季研修会においてICT機器等を活用した研修を計画し、授業づくりを推進する。					
2023年度実施内容	GIGA端末を効果的に授業で活用する研究を各学校において進めた。					
【参考】予算事業名	教育用コンピュータ維持管理事業（小学校費）		【参考】実績額	70,663,809円	担当課	学校教育課
【参考】予算事業名	教育用コンピュータ維持管理事業（中学校費）		【参考】実績額	26,798,759円	担当課	学校教育課
2023年度実施内容	学校DX戦略アドバイザー派遣事業を活用した研修講座を1講座実施した。					
【参考】予算事業名	調査・研究事業		【参考】実績額	3,557,803円	担当課	療育教育総合センター
取り組み②	児童・生徒の発達段階に応じた情報モラル教育と情報リテラシーの育成方法の研究				総合戦略	—
説明	教育情報化推進会議において、児童・生徒の発達段階に応じた情報教育の在り方を研究する。					
2023年度実施内容	GIGA端末の利用に際し、各学校で情報モラル教育等に取り組んだ。					
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課	学校教育課

具体的施策	④ 地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進						総合戦略	1－2－①－3
KPI	地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	年2回	No.5						年3回実施
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・年間指導計画に基づき、各学校において学校支援地域本部に協力を依頼し、地域講師の派遣による授業を行った。								No.6
・各学年2回～14回実施した。								
・各学校の最低回数を実績とするもの。								
今後の対応								
・ばらつきはあるものの、学校及び学年の実態に合わせて地域とともに授業をつくっていく学校が多くみられた。								No.7
・今後も学校が積極的に地域を教育活動に巻き込んでいけるよう努める。								

主な取り組み

取り組み①	コミュニティ・スクールの実現						総合戦略	－
説明	・学校支援地域本部事業を各学校に委託し、学校・家庭・地域の連携による「共育」活動を推進し、市民が地域に開かれた学校づくりに積極的に参画できる仕組みに発展させる。 ・コミュニティ・スクール準備協議会（仮称）を立ち上げ、各学校の取り組みに関する情報を共有し、学校支援地域本部からコミュニティ・スクールへの移行について検討する。							
2023年度 実施内容	・学校支援地域本部の協力の下、授業の充実を図った。 ・コミュニティスクールの導入に向けた学習会をスタートさせた。							
【参考】予算事業名	学校支援地域本部事業			【参考】実績額	2,917,211円	担当課	学校教育課	
取り組み②	効果的な研修内容の企画と提示						総合戦略	－
説明	・放課後児童クラブやふれあいスクール指導員が参加できる子どもに関わる研修内容を検討し夏季研修会にて企画し、参加を促していく。							
2023年度 実施内容	小・中学校教職員以外の参加者数は合計174名であった。							
【参考】予算事業名	調査・研究事業			【参考】実績額	3,557,803円	担当課	療育教育総合センター	
取り組み③	幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携の推進						総合戦略	1-2-②-4
説明	・幼・保・小連携推進連絡調整会議における情報交換の機会を充実させる。 ・幼稚園、保育園、小学校における保育参観や授業参観等を計画立案し、参観後の研究協議等を通して相互理解を促進する。 ・スムーズな接続を実現させるために、年度末の新就学児及び中学校進学児童のそれぞれの校種での交流・体験の機会を設定する。 ・中学校区における小学校教員と中学校教員の交流を深めるために、校内研究会等に参加する等相互の交流を実施する。							
2023年度 実施内容	・就学支援委員会を開催した。							
【参考】予算事業名	就学事務事業			【参考】実績額	1,650,604円	担当課	学校教育課	